

令和5年度 鎌田地区自治振興協議会提案書

▶提案は1つの提案書につき、1提案とします。
 ▶同一場所等において提案が複数になる場合、提案件数分の提案書を提出願います。

地区No.	
-------	--

団体名	御山越町内会	代表者	幕田由美子
住所	福島市丸子字御山越9-3	TEL	533 - 6467

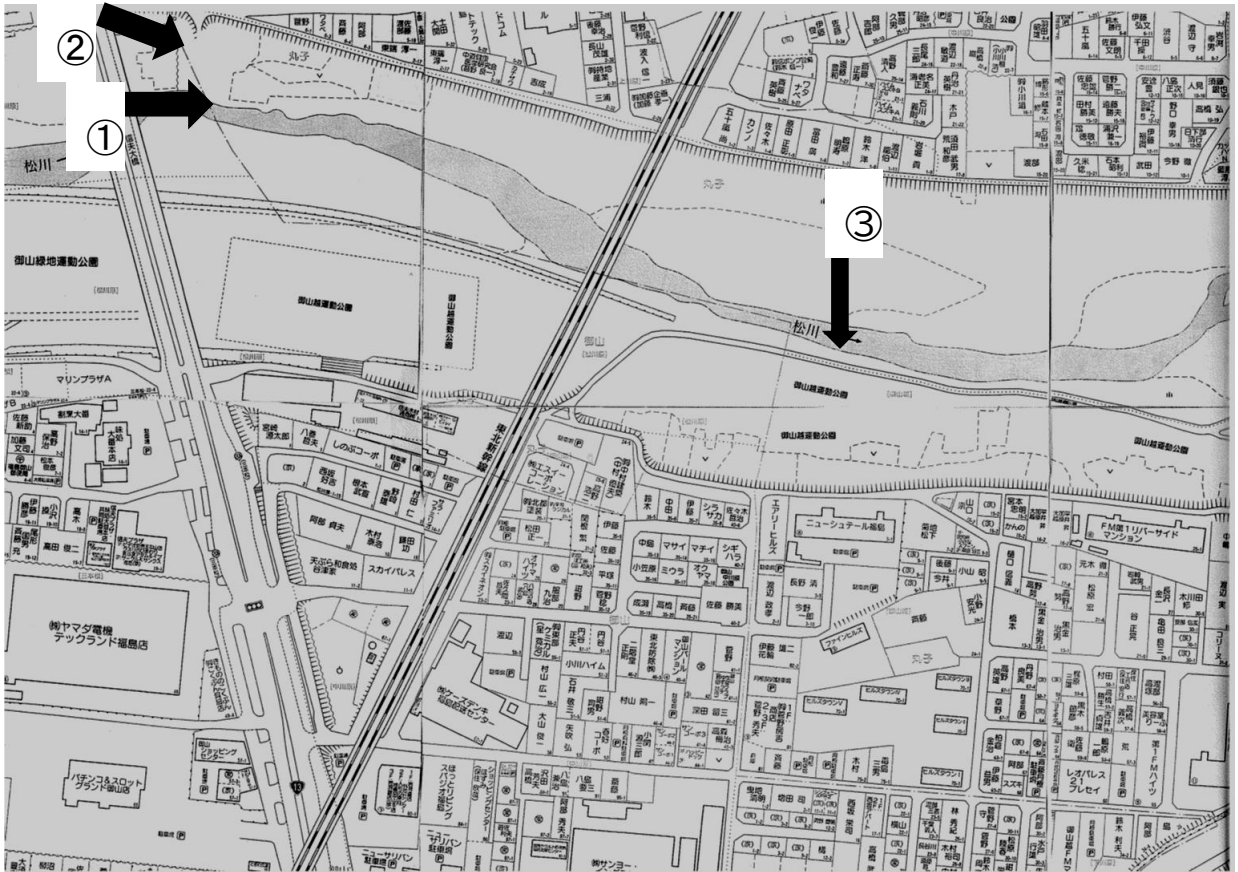
件名	松川河川敷の浸食防止（護岸）工事について <div style="text-align: right;">新規・継続（平成・令和 年度～）</div>		
提案箇所	福島市丸子字御山越地内 一級河川松川河川敷		
路線（河川）名	一級河川 松川 <small>路線・河川が複数になる場合、代表路線（河川）について記入願います。（例：市道〇〇線並〇路線）</small>		
道路形状	延長	m 幅員	m 深さ m

提案内容	<p>提案内容（略図は裏面に記入）</p> <p>御山越町内会の北側に位置する一級河川松川は、年々河川敷が浸食され、川の流が右岸側（丸子字御山越）に寄って来ています。令和元年10月の台風19号では、激しく浸食されました。これに対して左岸側（丸子字富塚）は川が干上がり砂利の堆積が目立つようになりました。こうした現象は、東北新幹線開通以降、河道斜めに設置された橋脚に沿って水の流が右岸方向に変えられたことが大きな要因と考えます。</p> <p>当町内会も防災に取り組んでおり、台風など大雨の際に河川敷の役割が重要なことを実感しています。台風19号の際は、町内会役員が水位を何度も確認し、一人暮らしの高齢者の避難誘導を行ったところです。上記のような現状を踏まえ以下のことを強く要望します。</p> <p style="text-align: center;">記</p> <p>提案する松川の河川敷は、東北新幹線上流に設置されているようなコンクリートの護岸がありません。そのため水の流により土砂が浸食され続けており、松川右岸河川敷の浸食を食い止めるための護岸工事の実施を強く要望します。</p> <p>令和4年度回答では、「現在コンクリートブロックによる護岸の整備予定はありませんが、水量の位置を中心付近に戻すよう雑木・堆積土砂の撤去を行っています。」とのことでした。今年度本内地区で護岸工（L=53m、A=802㎡）が予定されていますが、年間100m程度の河道掘削工事では当該箇所の工事が完了するまで相当の期間を要するものと思料されます。また、中心付近に戻す場合も新幹線橋脚との関係で護岸が必要と思料されます。河川敷の浸食を防止する工事は、昨今の気象災害が常態化していることに鑑み、喫緊の課題であり、一日も早く要望が実現できるよう、市から働きかけをお願いします。</p> <p>なお、回答票の担当課は河川課となっています。</p>		
関係者の同意	有 ・ 無		

【事務局使用欄】

項目区分		整理 No	
過年度地区 No.	平成・令和	年度 No.	

位置図【該当箇所を朱書き願います】



①



②



③

